

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第49週(12月1日～12月7日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	47週	48週	49週	49週	49週
インフルエンザ	▲22.00	●47.67	●52.00	●48.73	38.51
新型コロナウイルス感染症	0	1.33	0.33	0.33	1.26
RSウイルス感染症	2.50	0	0	0.16	0.57
咽頭結膜熱	●6.50	●3.50	●3.50	0.42	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.50	2.50	1.97	2.57
感染性胃腸炎	10.50	6.00	6.50	3.13	4.21
水痘	0	0.50	1.00	0.26	0.34
手足口病	0	0	0	0.45	0.08
伝染性紅斑	●3.00	●3.50	●4.50	●1.23	0.61
突発性発疹	1.00	0	0	0.13	0.22
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.03
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.03	0.04
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				1.13	0.66
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.04
マイコプラズマ肺炎	1.00	0	0	0.58	1.18
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0.08	0.01

急性呼吸器感染症(ARI)	61.33	69.67	92.00	96.14	83.42
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 インフルエンザが流行しています。

長崎県の第49週の患者報告数は2,485人で、定点当たり報告数は48.73となりました。11月27日にインフルエンザ流行警報が発表され、3週続けて警報レベルの報告数となっています。

地区別にみると、10保健所のうち7保健所で警報レベル、2保健所で注意報レベルの報告数となっています。

年代別では、10歳未満(56%)、10代(26%)が多くなっています。

今後さらなる患者数の増加が懸念されます。手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

【トピックス】 感染性胃腸炎に注意しましょう。

長崎県の第49週の報告数は97人で、定点当たりの報告数は3.13でした。地区別にみると、佐世保地区(6.75)、県北地区(6.50)、長崎地区(5.83)は他の地区より多くなっています。例年冬期に患者数が増加する傾向にあります。今後も動向に注意しましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【トピックス】 海外渡航の際は、感染症に注意しましょう。

年末年始の長期休暇を利用して海外に出かける方の増加が予想されます。海外では、日本に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。海外滞在中にこれらの感染症への感染を防止するためには、予防方法を知っておくことが重要です。厚生労働省のホームページには海外の感染症の発生状況や予防方法に関する情報が掲載されていますので、渡航先の情報を入手し、体調管理に努めましょう。

また、帰国後に症状が出た場合は、医療機関に相談・受診しましょう。その際には、旅行先や滞在期間、飲食状況、渡航先での職歴、家畜や動物との接触の有無などについて必ず申し出ましょう。

●厚生労働省ホームページ(海外へ渡航される皆様へ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkakukansenshou18/index_00003.html

●厚生労働省検疫所ホームページ(FORTH)

<https://www.forth.go.jp/index.html>